



学都たつのの輝きと歴史・文化が薫るまちを目指して

～障害者スポーツ促進事業～ 第1回障害者&健常者モルック交流大会

スポーツ振興課では、年齢や性別、障害の有無に関係なく障害者と健常者が共に楽しむことができるスポーツ環境を構築するため、障害者スポーツの普及に取り組んでいます。

10月1日(土)には、中川原グラウンドにて「第1回障害者&健常者モルック交流大会」を開催しました。「モルック」はフィンランド発祥のニュースポーツです。大会にはたつの市身体障害者福祉協会から4チームご参加いただき、一般参加と合わせて合計12チーム・総勢36名で、晴天のグラウンドの下、「モルック」を楽しみました。

今大会の参加者については、モルックを初めてプレーされる方が大半でしたが、大会開始前にルール説明と練習の時間を設けることで、初心者の方でもスムーズに競技を行うことができました。競技中には「ナイスプレー」等の歓声が上がり、和気あいあいと競技が行われていました。

また、今大会の参加者からは、『「モルック」をもっとやってみたい』『障害者スポーツに興味を持った』『年齢等に関係なくみんなで楽しめてよかった』等の声も聞くことができました。

今後については、障害者スポーツのさらなる普及を目的として、11月23日(水・祝)に新宮宮内遺跡北公園にて「たつの市長杯第1回モルック大会」を開催する予定です。市内各体育施設では、「モルック」や「ポッチャ」等の障害者スポーツ用具の貸し出しも実施しておりますので、自治会行事等の団体行事やレクリエーション等にお使いください。

▶スポーツ振興課 (☎63・2261)



オレンジボンには
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。

11月は『児童虐待防止推進月間』です 『もしかして?』ためらわないで!189(いちはやく)!

令和4年度 標語

児童虐待については、毎日のように新聞やテレビで報道され、子どもの命が奪われる等重大な事件が後を絶ちません。近年のコロナ禍により、不安やストレスを抱えた子育て家庭の孤立、密室化が進み、児童虐待の深刻化が危惧されています。

子どもからSOSを出すことはほとんどありませんが、発見が遅れると深刻な事態になることがあります。

周りの大人が虐待を発見したり、「虐待かな」と思ったら、相談窓口へ速やかに通報、相談をしてください。

通報は匿名でも構いません。秘密は守られます。

児童虐待とは

保護者が監護する児童に対して行う下記の行為をいいます。

身体的虐待 殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる等

性的虐待 子どもへの性的行為、性的行為を見せる等
ネグレクト 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する等

心理的虐待 言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(面前DV) → 全国的にも増加傾向にあります。

相談窓口

■児童福祉課

子育て応援センター「すくすく」 月～金(祝日除く)
8:30～17:15 ☎64・3220

■姫路こども家庭センター 月～金(祝日除く)

9:00～17:00 ☎079・297・1261
【24時間ホットライン】 ☎079・294・9119

■児童相談所全国共通ダイヤル

24時間受付 ※近くの児童相談所につながります。
虐待対応ダイヤル ☎189 (いちはやく)
相談専用ダイヤル ☎0120・189・783 (いちはやく おなやみを)

たつの市における相談状況

令和3年度、子育て応援センターすくすくで受けた新規相談321件のうち、児童虐待相談は50件で、前年度(36件)より増加しています。50件中27件は面前DV関連でした(下記参照)。児童虐待は身近な所でも起こっています。地域での見守り、支援をお願いします。

分類内容	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待(うち面前DV)	計
件数(人) ※疑い含む	14	1	3	32(27)	50

面前DV: 子どもの目の前で配偶者への暴力等



消防最前線

200

▼西はりま消防組合たつの消防署(☎63・3511)

「火の用心」身近な火災危険を取り除く

■電気ストーブや電気こたつからの火災を防ぐポイント

火を使わない電気ストーブや電気こたつでも火災が発生します。冬の季節を迎える前に点検を行い、次のことに注意しましょう。

◇電気ストーブ・電気こたつ共通

- 就寝時、外出時やその場を離れるときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 洗濯物の乾燥等には使用しない。
- スプレー缶やライター等を近くに置かない。
- ヒーター部分のお手入れをして、ほこりやごみが付着したまま使用しないようにする。
- ◇電気ストーブ
 - 壁や燃えやすいものから離して使用する。
- ◇電気こたつ
 - 布団や座布団、座椅子をこたつの中に押し込まないようにする。

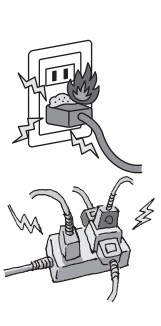
■電気コードや配線器具からの火災を防ぐポイント

電気コードや配線器具からの火災を防ぐために次のことに注意しましょう。

- 電気コードを曲げたり引っ張ったりしない。
- 電気コードが家具などの下敷きにならないようにする。
- 定格容量を超えて使用しない。
- 電気コードを束ねたままで使用しない。
- たこ足配線をしていない。
- 不要なプラグは抜く。

■「着衣着火」を防ぐポイント!

ガスこんろの火や仏壇のロウソクの火など、何らかの原因で衣服に火が燃え移ることを「着衣着火」といいます。着衣着火を防ぐために次のことに注意しましょう。



- 火に近づかないようにする。
- こんろの奥に手を伸ばすときは、火を消す。
- 袖口やすそが広がっている衣服、ストールなど垂れ下がるものは、火を扱う際には身に着けない。



テクノ圏域だより



さようビジネスプランコンテスト2022決勝大会

地域課題の解決や地域資源の活用を目指すビジネスプランを募集し、その新規性や独自性を競う「さようビジネスプランコンテスト2022」の決勝大会を開催します。佐用町での起業にかけた熱き戦いをぜひご覧ください。

と き 12月10日(土) 12時開場 12時30分開演予定
と ころ さよう文化情報センター 大ホール
入 場 料 無料(申し込み不要)

▶佐用町商工観光課 商工振興室(☎0790・82・0670)



昨年のコンテストの様子

2022年1月1日からの
市内の災害状況
(10月20日現在)

火災 18件 救急 2,956件 救助 68件

西はりま消防組合ホームページのご案内
<http://fd-nishiharima.jp/>

災害情報案内(自動音声案内)
☎0791・76・7150

休日・夜間病院案内(自動音声案内)
☎0791・76・7160

「着衣着火」を防ぐポイント!

ガスこんろの火や仏壇のロウソクの火など、何らかの原因で衣服に火が燃え移ることを「着衣着火」といいます。着衣着火を防ぐために次のことに注意しましょう。

- 火に近づかないようにする。
- こんろの奥に手を伸ばすときは、火を消す。
- 袖口やすそが広がっている衣服、ストールなど垂れ下がるものは、火を扱う際には身に着けない。

「火の用心」身近な火災危険を取り除く

火を使わない電気ストーブや電気こたつでも火災が発生します。冬の季節を迎える前に点検を行い、次のことに注意しましょう。

- 就寝時、外出時やその場を離れるときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 洗濯物の乾燥等には使用しない。
- スプレー缶やライター等を近くに置かない。
- ヒーター部分のお手入れをして、ほこりやごみが付着したまま使用しないようにする。

